



北九州市立

「チーム富野」通信 NO9

平成28年12月15日

北九州市立富野中学校  
校長 山下 新三

農村民泊体験学習に行ってきました



＜ 農家の方と入村式 ＞



＜ 里芋の収穫 ＞



＜ 玉葱の苗植え ＞



＜ カボスの収穫 ＞



＜ 稲の脱穀 ＞



＜ 沢山食べた食事 ＞

11月15日(火)から11月17日(木)までの2泊3日で、2年生は九重町、大山町、玖珠町等で農村民泊体験学習を行いました。今年度は、熊本地震のため1学期から延期になっての実施でしたが、11件の農家では、里芋・大豆・ゆず・唐辛子の収穫、竹細工、薪割り、玉葱植え、大根ラベル貼り、稲の脱穀、牛の世話等々農家の作業を農村の方々とのふれ合いの中で体験することができました。この農村民泊体験では、「感謝～命と自然の大切さを学ぼう～」のスローガンを掲げ、農家の自宅で生活する中で、農家の生活や食育、働くこと、人との関わり等について考える機会となりました。以下生徒の感想の一部を紹介します。

今回体験したことで学んだ事は周りの人への感謝の気持ちを持つということです。・・(中略)「大変ではないですか？」と聞くと「今は人生の楽園です」と答えてくれました。人生の楽園とは、一日中自分の好きな農業をして暮らせるという事だそうです。それを聞いて私は農業をもっとやりたいと思いました。もう一つ学んだことは、農業の大変さです。理由は、毎日天候が違うことです。台風や干ばつで作物が育たなかったり、牛の体調が崩れたりと農業の大変さを学びました。・・若い人が農業をしないと農家が減っていくと思います。だから私はもっと農業に参加したいと思います。 Mさん

私は、二つのことを学びました。一つは何でも自分から考えて工夫しながら行動することです。渋柿を使って干し柿を作っているときにピーラーで皮をむいていると、おじいちゃんが、「ピーラーを動かすのでなくて、柿自体を動かすといいよ」と教えてくれて、その時に何でも最善策を見つけるには自分で工夫することだと学びました。二つ目は、人の話に無駄なことはないから、自分のためにしっかりと聞くことを改めて学びました。・・自然に囲まれた中の空気はとても気持ちよくて、ずっとここにいたいと感じました。ここで学んだことをこれからの生活で活かしていきたいと思いました。 Iさん

私は、沢山のことを学ぶことができました。・・(中略)・・森さんが作って売っているゆず胡椒に入れる唐辛子を探りました。黄色が一番辛くて次に赤、最後に緑でした。私は赤が一番辛いと思っていたけど、黄色だったので驚きました。・・インタビューで森さんは、植物の芽が出ることと収穫が楽しいと言っていました。最終日、私達は大切なことを教えてもらいました。それは、いくら失敗しても努力さえすれば良いということと、あいさつを相手よりも先にした方が勝ちということです。私はその話を聞いて自分の目標にしようと思いました。 Eさん

## 生徒会改選が行われ、新役員が決定しました

12月5日(月)の朝から、正門の両脇いっばいに応援の生徒たちが並び、生徒会改選に向けた選挙活動がはじまりました。

今年度は、生徒会長候補2名、2年生徒会副会長候補2名、1年生副会長1名、書記長1名、書記次長1名が立候補を行い選挙が行われました。12月9日(金)の立会演説会では、それぞれの立候補者と応援責任者が壇上で、生徒会に対する熱い思いを訴えました。

私からは、今年度より実施された18歳選挙権や「生徒の生徒による生徒のための生徒会」となるよう選挙の意義等について話しました。

以下、新生徒会役員が決定しましたので、ご連絡します。



<立会演説会の様子>



<選挙運動の様子>

**新役員のみなさん、よろしくお願ひします。**

会長	S.M. さん(2年)	2年副会長	I.S. 君(2年)	1年副会長	H.K. 君(1年)
書記長	M.M. さん(2年)	書記次長	K.N. さん(1年)		

(※HP掲載用に情報を省略しています)

富野中学校の良き伝統を生徒のみなさんと一緒に築いていってください。期待しています。

## 1年生・2年生「北九州市学力状況調査」の準備を

昨年度より、北九州市学力状況調査が行われています。この調査は、全国学力学習調査と違い、各学年や個人の経年変化を確認することができます。昨年よりどう変化したかを個別に具体的に知ることができます。思考力・判断力・表現力の育成が学習指導の中核として求められていますが、国語と数学の学習内容の範囲のプリントを配布していますので、しっかり学習して調査に臨んでください。調査日は、平成29年1月12日です。3年生は、到達度テストとなっています。

### 学力向上の取組の紹介と連絡

今年度、本校では、生徒の学力向上を目指して、北九州市教育委員会の「授業力向上ステップアップ事業」を受け、モデル授業を全職員で参観し、指導主事を交えて研究協議をするなど授業改善に取り組んでいます。また、自学ノートを生徒全員に配布するなど家庭学習の取組も啓発しています。学力向上は、一朝一夕に実現できるものではありません。学校と家庭、地域が協力し、課題解決に向けた計画的・継続的な取組が必要だと考えています。学力に見られる主な課題は、文章問題を苦手とした生徒が多く、無回答率の引き下げと基礎的な計算能力の積み残しが見られます。3年生の高校受験時になって「行きたい学校」を選択できず、「いける学校」を選択せざるおえない生徒が見られる現状があります。学校としては、課題克服のために授業改善はもちろんのこと、朝自習や試験前の質問教室等に取り組んできましたが、生徒全員の進路保障を目指して、生徒一人一人の基礎学力をアップさせるために、3学期より更なる取組を行いますのでご連絡します。

#### 【 具体的取組 】

①朝10分 朝読書タイム (仮称) 8:30~8:40・・・読書活動による文章問題に対する読解力

②富野タイムの設定 (仮称) 15:35~15:55・・・数学(算数)の基礎的計算力

③自学ノートの取組の強化

#### 【 身に付けさせたい力 】

( 補充学習として位置づけ、学習内容は学年によって検討 )

・・・家庭学習の習慣づけによる自主学習力

今後の取組についてのご理解とお子様への声かけをどうぞよろしくお願いいたします。